imageFORCE

ユーザーズガイド（機能追加のお知らせ）

USRMA-9541-03 2026-05 ja
Copyright CANON INC. 2026

もくじ

はじめにお読みください 2

各種機能に関する変更 6

本機の稼働状況などを確認する画面の追加 7

読み込み設定に関する変更 9

ネットワークに関する変更 11

Universal Print が macOS に対応 17

ユーザー認証に関する変更 18

IPP プリントの情報を各ユーザーに関連付ける 19

サーバー情報の登録に関する変更 22

操作パネルでの Microsoft Entra ID の接続確認に対応 23

ジョブ履歴に関する変更 24

キヤノン専用アプリに関する変更 25

認証サーバーに関する変更 26

認証サーバー情報を登録する 27

宛先登録に関する変更 31

接続先の SFTP サーバーを認証する 32

階調補正に関する変更 33

コピーの便利な機能に関する変更 34

システム仕様の変更 35

設定/登録に関する変更 43

新規追加項目 44

［デフォルト画面］（Ver.4.01～） 45

［MAC アドレスフィルター］（Ver.4.01～） 46

［IEEE 802.1X 設定］（Ver.4.01～） 48

［連続キー操作を受け付けない時間の指定］（Ver.4.02～） 50

［宛先の名称を件名に使用］（Ver.4.02～） 51

［DNS 暗号化設定］（Ver.4.04～） 52

［回線分離によるファイル共有制限］（Ver.4.04～） 53

［SFTP 送信時のホスト認証］（Ver.4.04～） 54

［パスワード強度メーターを使用］（Ver.4.04～） 55

［ﾎﾟﾘｼｰ違反のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ をﾛｸﾞｲﾝ時に必ず変更］（Ver.4.04～） 56

変更項目 57

バージョンごとの変更点 63

Ver.4.00 の変更点 64

Ver.4.00 から Ver.4.01 の変更点 65

Ver.4.01 から Ver.4.02 の変更点 66

Ver.4.02 から Ver.4.04 の変更点 67

第三者のソフトウェアについて 69

はじめにお読みください

はじめにお読みください 2

はじめにお読みください

EL2K-000

本マニュアルはユーザーズガイドとあわせてお読みください。本マニュアルは、プラットフォームバージョン Ver.4.00 以降で対応した追加機能や変更内容について説明しています。

お使いのバージョンを確認する

お使いの機種によっては最新のプラットフォームバージョンが適用されていない場合があります。以下の手順でお使いのバージョンをご確認のうえ、本マニュアルをお読みください。

1 操作パネルの［ホーム］画面などで、［123］を押す

➔［カウンター/機器情報］画面が表示されます。

2 ［機器情報/その他］▶［デバイス構成確認］を押す

3 ［プラットフォームバージョン］でお使いのバージョンを確認する



本マニュアルの読みかた

本マニュアルで使われる画面やアイコンなどについて説明します。なお、ここで説明していないマークや画面などについては、「ユーザーズガイド」と同様です。

※お使いの機種やオプションによっては、対応していない機能などが記載されている場合がございますが、あらかじめご了承ください。

画面について

本マニュアルで使われている画面は、機種やオプションの有無、バージョンなどによって、お使いの複合機と異なる場合があります。

対応バージョンについて

ファームウェアのアップデートにより追加／変更となった記載内容に対しては、対応となるバージョンを以下のアイコンで示しています。

Ver.4.00～	プラットフォームバージョン Ver.4.00 以降で対応
Ver.4.01～	プラットフォームバージョン Ver.4.01 以降で対応
Ver.4.02～	プラットフォームバージョン Ver.4.02 以降で対応
Ver.4.04～	プラットフォームバージョン Ver.4.04 以降で対応

メモ

対応バージョンに応じた記載内容を探す

- バージョンごとの変更点を一覧にまとめたページから探すことができます。 **バージョンごとの変更点 (P. 63)**
- 「Ver.4.00」のようにキーワードにバージョンを入力して検索すると、それを含むページが候補として表示されますので、その中から探すことができます。



対応機種について

対応となる機種が限定される記載内容に対しては、以下のアイコンで示しています。

Color	すべてのカラー機
Black&White	すべてのモノクロ機
C7100	各製品を示すアイコン 例） C7100 ：imageFORCE C7165F

※上記のアイコンが記されていない場合は、全機種が対応しています。

本マニュアルの表示を設定する

本マニュアルの文字サイズを変更したり、本マニュアルを表示する機器に合わせた画面レイアウトに切り替えたりすることができます。

メモ

- PDF 形式のマニュアルを見られない場合は、Adobe Acrobat Reader をアドビシステムズ社のホームページ（https://get.adobe.com/reader/）からダウンロードしてください。

商標について

Google Cloud、Google Workspace は、Google LLC の商標です。

本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

各種機能に関する変更

各種機能に関する変更 6
本機の稼働状況などを確認する画面の追加 7
読み込み設定に関する変更 9
ネットワークに関する変更 11
Universal Print が macOS に対応 17
ユーザー認証に関する変更 18
IPP プリントの情報を各ユーザーに関連付ける 19
サーバー情報の登録に関する変更 22
操作パネルでの Microsoft Entra ID の接続確認に対応 23
ジョブ履歴に関する変更 24
キヤノン専用アプリに関する変更 25
認証サーバーに関する変更 26
認証サーバー情報を登録する 27
宛先登録に関する変更 31
接続先の SFTP サーバーを認証する 32
階調補正に関する変更 33
コピーの便利な機能に関する変更 34
システム仕様の変更 35

各種機能に関する変更

EL2K-002

本機の各種機能に関する変更内容について説明しています。

- 本機の稼働状況などを確認する画面の追加 (P. 7)
- 読み込み設定に関する変更 (P. 9)
- ネットワークに関する変更 (P. 11)
- Universal Print が macOS に対応 (P. 17)
- ユーザー認証に関する変更 (P. 18)
- サーバー情報の登録に関する変更 (P. 22)
- 操作パネルでの Microsoft Entra ID の接続確認に対応 (P. 23)
- ジョブ履歴に関する変更 (P. 24)
- キヤノン専用アプリに関する変更 (P. 25)
- 認証サーバーに関する変更 (P. 26)
- 宛先登録に関する変更 (P. 31)
- 階調補正に関する変更 (P. 33)
- コピーの便利な機能に関する変更 (P. 34)
- システム仕様の変更 (P. 35)

本機の稼働状況などを確認する画面の追加

EL2K-003

Ver.4.01～

［状況確認］画面に［稼働状況］の項目追加

用紙やトナーなどの残量や、本機のセキュリティー対策の状況、ファクスやプリント時のトラブル解決のサポート情報、指定期間内のプリント状況や消費電力などをまとめて確認できるようになりました。



［用紙］／［トナー/回収トナー］
用紙やトナーの残量、回収トナー容器の空き容量など本体の状況を確認できます。

［セキュリティー］
本機のネットワーク種別やセキュリティーに関わる情報を確認できます。

- 前回からセキュリティーの状況が変更されている場合は、アイコンに黄色のマークが付きます。
- ［対策状況］を押して、セキュリティーの対策状況を確認できます。対策について詳しくは、表示された QR コードから「オンラインマニュアル」でご確認ください。
- この項目は管理者としてログインしたときのみ表示されます。

［トラブル解決ガイド］
プリント／ファクス／スキャンして送信のトラブルを解決するためのサポート情報が表示されます。解決したいトラブルの項目を選択すると、推測される原因や対処方法が表示されます。原因や対処方法が複数表示された場合は、上から順に内容を確認して下さい。

- ジョブの一覧が表示された場合は、トラブルが発生したジョブを選択してください。プリントの項目を選択した場合に、該当するジョブが無い場合は、［該当ジョブなし］を選択してください。
- QR コードが表示された場合は、QR コードから「オンラインマニュアル」で対処方法をご確認ください。

［環境インジケーター］
［表示期間］で指定した期間のプリント状況や消費電力を確認できます。
※機種や使用環境によっては、正しく表示されない場合があります。

［プリント枚数］
出力された印刷物の枚数を表示します。

［用紙削減率］
両面プリントやページ集約によるプリントによって、どのくらい用紙を節約できたかを表示します。

- ［用紙削減率］は、次のような計算で表示されます。（小数点以下は切り上げられます。）

［用紙削減率］＝（総原稿面数 − プリント枚数）÷ 総原稿面数 ×100

［両面比率］
出力された印刷物のうち、両面プリントされた印刷物の割合を表示します。

- ［両面比率］は、次のような計算で表示されます。（小数点以下は切り上げられます。）
  ［両面比率］＝総両面プリント枚数 ÷ プリント枚数 ×100

［ページ集約率］
出力された印刷物のうち、ページ集約でプリントされた印刷物の割合を表示します。

- ［ページ集約率］は、次のような計算で表示されます。（小数点以下は切り上げられます。）
  ［ページ集約率］＝ページ集約でプリントした面数 ÷ プリント面数 ×100

［白黒比率］
出力された印刷物のうち、白黒プリントされた印刷物の割合（カラープリントを削減できた割合）を表示します。

- ［白黒比率］は、次のような計算で表示されます。（小数点以下は切り上げられます。）
  ［白黒比率］＝総白黒プリント面数 ÷ プリント面数 ×100
- この項目は、カラー機のみ表示されます。

［消費電力］
指定された期間に原稿 1 ページをプリントするために消費された電力量と、前の期間（前日／前週／前月）に消費された 1 ページあたりの電力量の割合（%）を表示します。

- ［消費電力］は、次のような計算で表示されます。
  - コピーの場合：
    （プリント電力 + システム電力 + スキャナー電力）÷ 原稿枚数
  - プリンタードライバーからのプリントの場合：
    （プリント電力 + システム電力）÷ 推定原稿枚数
    ※推定原稿枚数 = 出力枚数 × 集約するページ数 × 部数

消費電力量を抑えたいとき

- カラー原稿を白黒でコピーします。操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［コピー］ ▶ ［カラー選択］で［白黒］を選びます。（カラー機のみ）



- ［ページ集約］でコピーします。操作パネルの［ホーム］画面 ▶ ［コピー］ ▶ ［その他の機能］で［ページ集約］を選びます。



- プリンタードライバーからのプリント時は、以下の設定を行ってください。
  - ［基本設定］タブの［カラーモード］で［白黒］を選ぶ。（カラー機のみ）
  - ［基本設定］タブの［ページレイアウト］で［2 in 1］などを選ぶ。

メモ

- ［稼働状況］画面を［状況確認］画面のデフォルト表示に変更することができます。 **［デフォルト画面］（Ver.4.01 ～） (P. 45)**

読み込み設定に関する変更

EL2K-004

Ver.4.00～

濃度調整に新規項目を追加

濃度調整の項目に［修正液などの痕跡を残す］が追加になりました。

修正液や修正テープなどの痕跡が残るような濃度にする場合
［背景調整］の［修正液などの痕跡を残す］を押して、選択した状態にします。
［修正液などの痕跡を残す］を選択した場合は、［スキャンして送信］の以下の設定が選択できません。

- ［カラー選択］の［自動(カラー/白黒)］／［白黒 2 値］
- 送信宛先の［I ファクス］
- ［濃度］▶［背景調整］の［自動］／［調整］

Ver.4.04～

［指定色除去］を追加

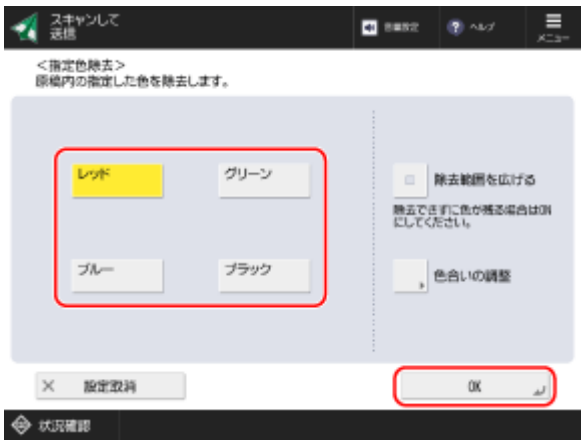
原稿内の特定の色を消してスキャンできるようになりました。

1 スキャンの画面で、［その他の機能］▶［指定色除去］を押す

➔［指定色除去］画面が表示されます。

2 除去したい色を選択し、［OK］を押す

例：スキャンして送信の画面の場合



- 指定した色が除去されず、色が残る場合は［除去範囲を広げる］を［ON］に設定します。
- ［レッド］／［グリーン］／［ブルー］を選択した場合は、［色合いの調整］を押して色合いを調整できます。

3 ［閉じる］を押す

➔スキャンの画面に戻ります。

Ver.4.04～

C3150F

原稿の向きの選択に対応

フリーサイズ（名刺など）の原稿をスキャンするときに、原稿サイズの設定で［フリーサイズ］を選択した場合に、［上辺が奥］または［上辺が横］を選択できるようになりました。



ネットワークに関する変更

EL2K-005

Ver.4.01～

- 主回線での無線 LAN の使用に対応 (P. 11)
- 副回線通信での MAC アドレスフィルターの使用に対応 (P. 12)
- 副回線通信での IEEE 802.1X の使用に対応 (P. 14)

主回線での無線 LAN の使用に対応

本機を 2 系統のネットワークに接続して使用する場合、主回線で無線 LAN を使用できるようになりました。

- ネットワークへの接続方法を選択する (P. 11)
- 本機のネットワーク接続方式を確認する (P. 12)

ネットワークへの接続方法を選択する

1 本機に管理者ユーザーでログインする

2 操作パネルの［ホーム］画面などで、［設定/登録］を押す

➔［設定/登録］画面が表示されます。

3 ［環境設定］▶［ネットワーク］▶［インターフェイス選択］を押す

➔［インターフェイス選択］画面が表示されます。

4 ネットワークの接続方法を選択する

接続パターン		［主回線］	［副回線］
有線 LAN のみ	有線 LAN（主回線）のみ	［有線 LAN］	［使用しない］
無線 LAN のみ	無線 LAN（主回線）のみ	［無線 LAN］	［使用しない］
有線 LAN と無線 LAN を同時に接続*1	有線 LAN（主回線）+無線 LAN（副回線）	［有線 LAN］	［無線 LAN］
	有線 LAN（副回線）+無線 LAN（主回線）*2	［無線 LAN］	［有線 LAN］
有線 LAN と別の有線 LAN を同時に接続	有線 LAN（主回線）+有線 LAN（副回線）*3	［有線 LAN］	［有線 LAN］

*1 無線 LAN を［主回線］から［副回線］、または［副回線］から［主回線］に設定変更した場合、それまでの無線 LAN 接続の設定内容はクリアされるため、無線 LAN に接続しなおす必要があります。
*2 本機の LAN ポートに接続した有線 LAN が副回線になります。USB-LAN アダプターで接続した有線 LAN は副回線で使用できません。
*3 本機の LAN ポートに接続した有線 LAN が主回線に、USB-LAN アダプターで接続した有線 LAN が副回線になります。

5 ［OK］を押す

➔ 設定が反映されます。

メモ
［主回線］を［有線 LAN］、［副回線］を［使用しない］以外に設定した場合
- スリープモード中の消費電力が多くなるように設定されます。

本機のネットワーク接続方式を確認する

1 本機に管理者ユーザーでログインする

2 操作パネルの［ホーム］画面などで、［ 設定/登録］を押す

➔［設定/登録］画面が表示されます。

3 ［環境設定］▶［ネットワーク］▶［インターフェイス選択］を押す

➔［インターフェイス選択］画面が表示されます。

4 ［主回線］で［有線 LAN］、［副回線］で［使用しない］／［有線 LAN］に設定されていることを確認する
接続方式が有線 LAN に設定されている場合は、本機がネットワークに接続されていなくても、ダイレクト接続できます。

［主回線］または［副回線］に［無線 LAN］が設定されている場合

アクセスポイントモードを使用する場合
本機が無線 LAN に接続されていないと、ダイレクト接続できません。［主回線］と［副回線］に［無線 LAN］を使用しない設定に変更するか、本機を無線 LAN に接続します。

Wi-Fi Direct を使用する場合
接続方式が無線 LAN（副回線を含む）に設定されていると、ダイレクト接続できません。［主回線］と［副回線］に［無線 LAN］を使用しない設定に変更します。

5 ［OK］を押す

副回線通信での MAC アドレスフィルターの使用に対応

本機を 2 系統のネットワークに接続して使用する場合、副回線でも MAC アドレスフィルターを使用できるようになりました。

副回線の MAC アドレスフィルターを設定する

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

3 ［ネットワーク］をクリックする

4 副回線設定の［ファイアウォール設定］▶［MAC アドレスフィルター］をクリックする

➔副回線の MAC アドレスフィルターの設定画面が表示されます。

5 ［フィルターを使用する］にチェックマークを付ける

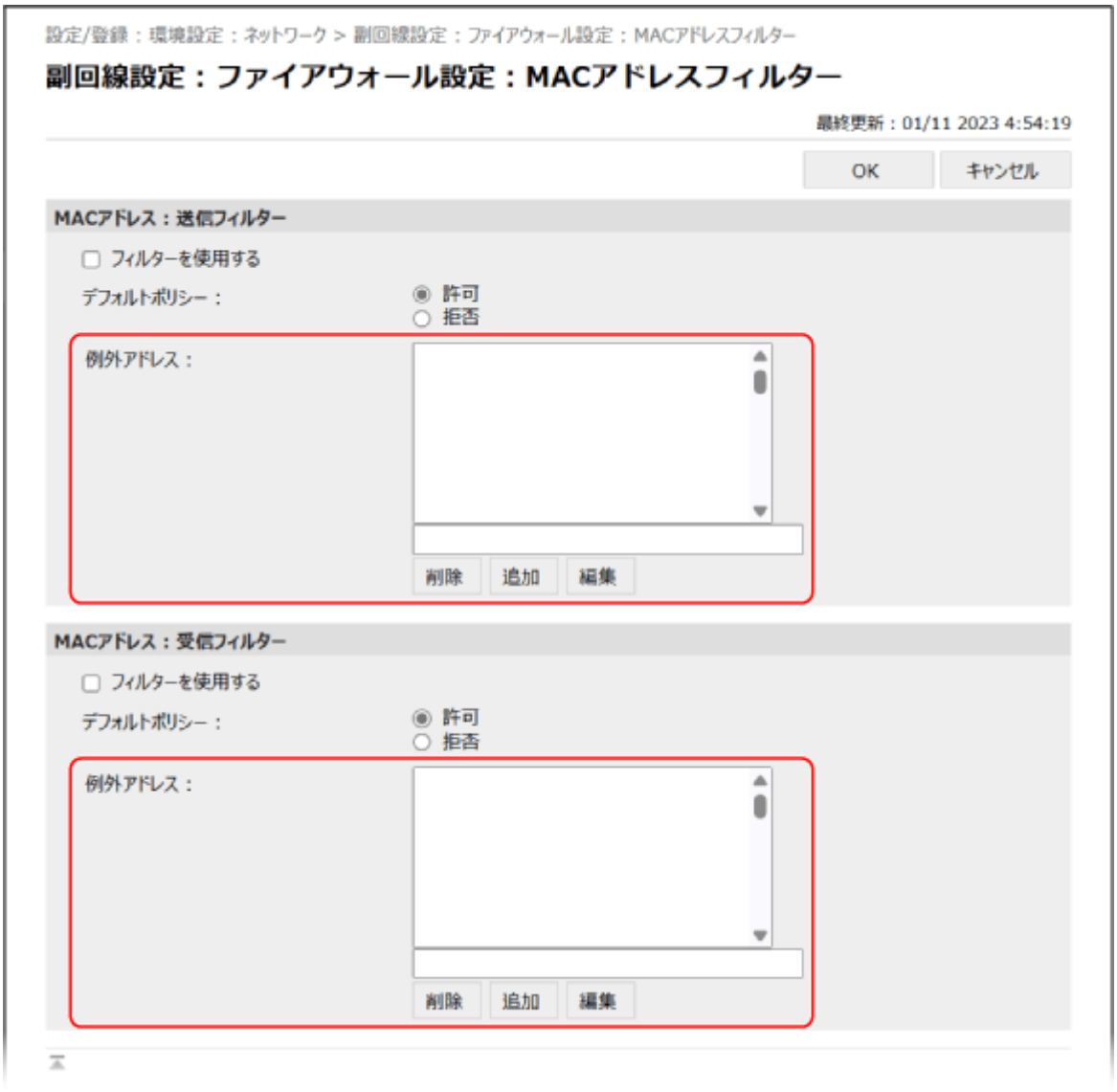
➔MAC アドレスフィルターが有効になります。

- 本機から他機へのデータ送信を制限する場合は、送信フィルターを設定します。
- 他機からのデータ受信を制限する場合は、受信フィルターを設定します。

6 ［デフォルトポリシー］で、フィルターの前提条件を設定する

フィルターの前提条件として、他機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

7 ［例外アドレス］の一覧に、例外アドレスを追加する



- フィルターの例外として、通信を拒否または許可する機器の MAC アドレスを追加します。

- 一覧に例外アドレスを追加するには、［追加］の上にある入力欄に MAC アドレスを入力し、［追加］をクリックします。

  ※MAC アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）などで区切らずに入力します。
  入力例：
  123A456B789C
- 最大 100 件の例外アドレスを追加できます。

8 ［OK］をクリックする

9 ［設定の反映］▶［OK］をクリックする

➔設定が反映されます。

10 リモート UI からログアウトする

副回線通信での IEEE 802.1X の使用に対応

本機を 2 系統のネットワークに接続して使用する場合、副回線でも IEEE 802.1X を使用できるようになりました。

※本機を 2 系統のネットワークに接続している場合は、主回線と副回線のどちらか一方で IEEE 802.1X を使用することができます。必要に応じて、それぞれの設定を変更します。主回線と副回線で同時に IEEE 802.1X を使用することはできません。

IEEE 802.1X を設定する

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

3 ［ネットワーク］▶［IEEE 802.1X 設定］をクリックする

➔［IEEE 802.1X 設定］画面が表示されます。

副回線の設定を変更する場合
［ネットワーク］▶［副回線設定］▶［IEEE 802.1X 設定］をクリックします。

4 ［IEEE 802.1X を使用する］にチェックマークを付け、ログイン名を入力する

ログイン名には、ユーザーを識別するための名前（EAP Identity）を半角英数字で入力します。
※主回線と副回線のどちらか一方で［IEEE 802.1X を使用する］にチェックマークを付けた場合は、もう一方にはチェックマークを付けることができません。

認証サーバーの証明書を検証する場合
［認証サーバーの証明書を検証する］にチェックマークを付けます。
証明書の共通名（Common Name）を検証する場合は、［認証サーバー名を検証する］にチェックマークを付け、ユーザーが登録されている認証サーバーの名前を入力します。

5 使用する認証方式に応じた設定をする

TLS を使用する場合

1. ［TLS を使用する］にチェックマークを付ける
2. ［鍵と証明書］をクリックする

   ➔［IEEE 802.1X の鍵と証明書］画面が表示されます。
3. 使用する鍵と証明書の右側にある［使用する］をクリックする
   - 鍵の名前（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
   - 証明書詳細情報の画面で、［証明書の検証］をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。
4. リモート UI の画面上部の［IEEE 802.1X 設定］をクリックする



➔［IEEE 802.1X 設定］画面に戻ります。

TTLS/PEAP を使用する場合

1. ［TTLS を使用する］または［PEAP を使用する］にチェックマークを付ける

   TTLS を使用する場合は、使用する内部プロトコルを選択します。
2. ［ユーザー名にログイン名を使用する］で、ユーザー名に IEEE 802.1X 認証のログイン名を使用するかどうかを設定する
3. ［ユーザー名/パスワード変更］をクリックする

   ➔［ユーザー名/パスワード設定］画面が表示されます。
4. ユーザー名やパスワードを設定する
   - ユーザー名は半角英数字で入力します。
   - パスワードを設定する場合は、［パスワード］と［確認入力］の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。
5. ［OK］をクリックする

   ➔［IEEE 802.1X 設定］画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

7 ［設定の反映］▶［OK］をクリックする

➔設定が反映されます。

➔副回線の設定を変更した場合は、［設定の反映］ ▶ ［再起動］をクリックします。

➔［基本機能の状態］で処理中の機能がないことを確認し、［再起動実行］をクリックします。

8 リモート UI からログアウトする

Universal Print が macOS に対応

EL2K-006

Ver.4.02～

C7100

Windows に加えて、macOS でも Universal Print を使用してプリントできるようになりました。

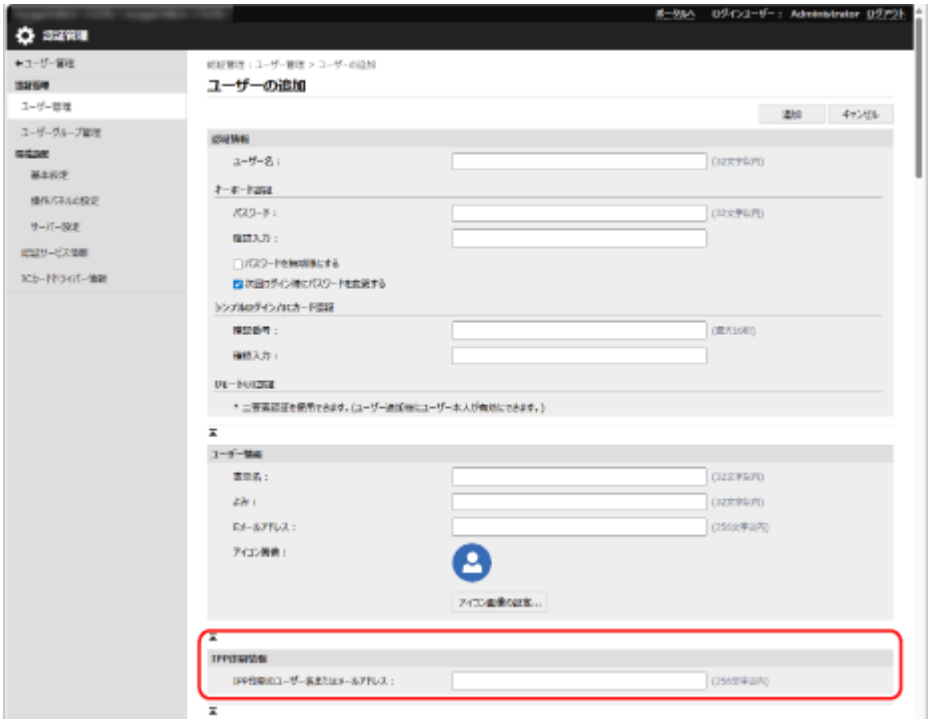
ユーザー認証に関する変更

EL2K-007

Ver.4.02～

ローカルデバイスに登録するユーザー情報に IPP プリント情報を設定する項目を追加

ユーザー情報を登録するときに、IPP プリントで使用しているユーザ名またはメールアドレスを設定できるようになりました。登録するユーザーと IPP プリントのジョブを関連付ける場合に設定します。



- ［設定/登録］ ▶ ［ネットワーク］ ▶ ［IPP 印刷の設定］が有効な場合に設定できます。
- ローカルデバイスに登録されている各ユーザーが自分で設定したり、管理者が CSV ファイルを使用して一括設定したりすることもできます。 **IPP プリントの情報を各ユーザーに関連付ける (P. 19)**

IPP プリントの情報を各ユーザーに関連付ける

EL2K-008

ローカルデバイスに登録されているユーザーと、IPP プリントを利用するユーザーの情報を関連付けて管理できるようにします。
※IPP プリントは、本設定を行わなくても利用できます。

各ユーザーが自分のユーザー情報を設定する (P. 19)
管理者が各ユーザーのユーザー情報を設定する (P. 19)
管理者が CSV ファイルを使用して一括設定する (P. 20)

各ユーザーが自分のユーザー情報を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。

1 リモート UI にログインする

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

3 [ユーザー管理] ▶ [認証管理] をクリックする

→ [ユーザー情報の変更] 画面が表示されます。

4 [IPP 印刷情報] で、ユーザー情報を設定する

[IPP 印刷のユーザー名またはメールアドレス] に、IPP プリントで使用しているユーザ名またはメールアドレスを入力します。

5 [更新] をクリックする

→ 設定が反映されます。

6 リモート UI からログアウトする

管理者が各ユーザーのユーザー情報を設定する

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
Administrator 権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

3 ［ユーザー管理］ ▶ ［認証管理］をクリックする

➔［ユーザー管理］画面が表示されます。

4 設定するユーザーの［編集］をクリックする

➔［ユーザー情報の編集］画面が表示されます。

ユーザーが未登録の場合は、［編集］の代わりに［ユーザーの追加］をクリックし、新規ユーザー情報の登録時に［IPP 印刷情報］を設定します。

5 ［IPP 印刷情報］で、ユーザー情報を設定する

［IPP 印刷のユーザー名またはメールアドレス］に、IPP プリントで使用しているユーザ名またはメールアドレスを入力します。

6 ［更新］をクリックする

➔設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

管理者が CSV ファイルを使用して一括設定する

CSV ファイルを編集して、ローカルデバイスに登録されているユーザーと、IPP プリントを利用するユーザーの情報を関連付けることができます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。
Administrator 権限が必要です。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

3 ［ユーザー管理］ ▶ ［認証管理］ ▶ ［IPP 印刷の設定］をクリックする

➔［IPP 印刷の設定］画面が表示されます。

4 ［エクスポート開始］をクリックし、CSV ファイルをパソコンに保存する

IPP プリントと関連付けられているユーザー情報が 1 件も登録されていない場合は、［関連付けの追加］をクリックし、関連付けられているユーザーを追加してから［エクスポート開始］をクリックします。

5 エクスポートされた CSV ファイルを編集する

- 「uid」に、ローカルデバイスに登録されているユーザーの名前を入力します。

- 「ipp_user_name」に、IPP プリントで使用しているユーザ名またはメールアドレスを入力します。

6 ［インポート］をクリックする

➔［関連付けのインポート］画面が表示されます。

7 ［ファイルのパス］で、［ファイルの選択］をクリックし、編集した CSV ファイルを指定する

8 ［インポート開始］をクリックする

➔インポートが実行されます。

9 インポートが完了したら、リモート UI からログアウトする

サーバー情報の登録に関する変更

EL2K-009

Ver.4.02～

サーバー認証設定時のパスワード文字数の上限を変更

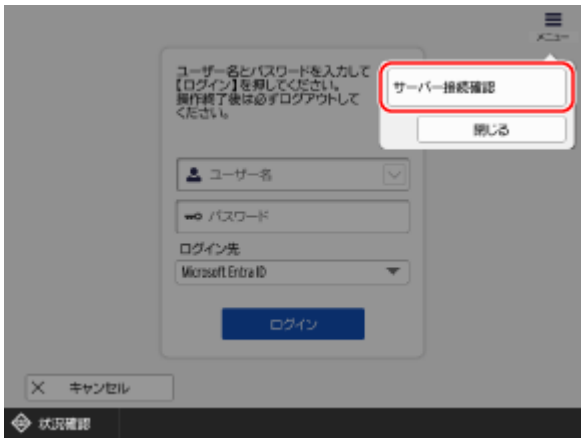
リモート UI で Active Directory のドメインを追加するときや、LDAP サーバー情報／Microsoft Entra ID 情報を登録するときに、設定するパスワードの文字数の上限が変更になりました。長いパスワードを設定することによって、本機のセキュリティーが強化されます。

操作パネルでの Microsoft Entra ID の接続確認に対応

EL2K-00A

Ver.4.02～

キーボード認証と IC カード認証で Microsoft Entra ID にログインするときに、操作パネルのログイン画面で Microsoft Entra ID との接続確認ができるようになりました。ログイン画面右上の［メニュー］▶［サーバー接続確認］でサーバーとの接続確認を行うことができます。



ジョブ履歴に関する変更

EL2K-00C

Ver.4.02～

ジョブ履歴の表示設定時に個人情報の書き込みを禁止する項目を追加

ジョブ履歴や監査ログにユーザー名、ファイル名、宛先などの個人情報の書き込みを禁止することができるようになりました。



キヤノン専用アプリに関する変更

EL2K-00E

Ver.4.01～

Canon PRINT Business から Canon PRINT へ移行

Canon PRINT Business のサポートが終了するため、Canon PRINT Business から Canon PRINT へ移行しました。今後は、Canon PRINT をお使いください。また、Canon PRINT への移行によって、Canon PRINT Business のプリントリリース機能が使用できなくなります。

認証サーバーに関する変更

EL2K-00F

Ver.4.04～

外部認証サーバーに Google Workspace を追加

外部認証サーバーに Google Workspace が追加になりました。



外部認証サーバーとして、Google Workspace を利用する場合は、使用するサーバー情報を登録します。 **認証サーバー情報を登録する (P. 27)**

認証サーバー情報を登録する

EL2K-01H

外部認証サーバーとして、Google Workspace を利用する場合は、使用するサーバー情報を登録します。

サーバー情報は、パソコンからリモート UI を使用して登録します。操作パネルを使用して登録することはできません。Administrator 権限が必要です。登録の反映には、本機の再起動が必要となります。

必要な準備

- DNS や日付／時刻の設定など、Google Workspace の使用に必要な設定が完了している必要があります。
- 使用する Google Workspace へのアクセス情報を手元に用意します。
- Google Workspace 情報を設定する場合は、［ウェブブラウザー］の［ブラウザーエンジン］を［WebKit2］に設定する必要があります。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする

2 リモート UI のポータル画面で、［設定/登録］をクリックする

3 ［ユーザー管理］▶［認証管理］▶［サーバー設定］▶［編集］をクリックする

➔［サーバー設定の編集］画面が表示されます。

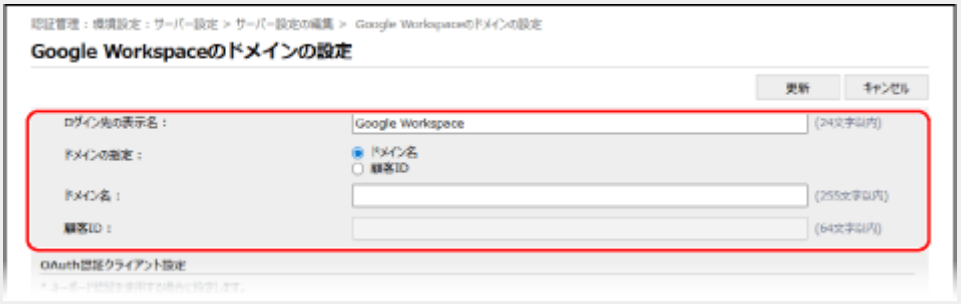
4 ［認証サーバー］で、Google Workspace の情報を設定する



Google Workspace 情報を設定する場合

1. ［Google Workspace を利用する］にチェックマークを付ける
2. ［ドメインの設定］をクリックする

   ➔［Google Workspace のドメインの設定］画面が表示されます。
3. Google Workspace 情報を設定する



   ［ログイン先の表示名］
   ログイン先で表示する名称を入力します。

   ［ドメインの指定 ］
   ［ドメイン名］と［顧客 ID ］のどちらをドメインとして使用するかを選択します。

   ［ドメイン名］
   ログイン先となる Google Workspace のドメイン名を入力します。

   ［顧客 ID ］
   ログイン先となる Google Workspace の顧客 ID を入力します。
4. OAuth 認証クライアント情報を設定する

   ［クライアント ID］
   クライアント ID を入力します。

   ［クライアントシークレット］
   Google Workspace で発行したクライアントシークレットを入力します。
5. サービスアカウント情報を設定し、［接続テスト］をクリックして接続できることを確認する

   ［サービスアカウントのメールアドレス ］
   Google Workspace で発行したサービスアカウントのメールアドレスを入力します。

   ［Google Workspace 管理者のメールアドレス ］
   Google Workspace 管理者のメールアドレスを入力します。

   ［鍵と証明書］
   鍵と証明書を使用する場合は、［鍵と証明書］をクリックし、Google Workspace に登録する証明書を設定します。鍵のアルゴリズムが RSA 2048 bit 以上で署名アルゴリズムが SHA256／SHA384／SHA512 のものを選択します。
   ［証明書のエクスポート］を押すと、Google Workspace に登録する証明書をエクスポートできます。
6. 属性を設定する

   ［認証時に照合する属性］
   使用する IC カードの ID や正当性値（再発行回数）を、プルダウンメニューで選択します。
   ※IC カードの登録または IC カードの削除を行う場合は、［カード ID (IC カード認証)］で「customSchemas.Card.CardId」を選択し、Google Workspace 上に「customSchemas.Card.CardId」のカスタム属性を作成します。
   ※正当性値の場合は、［正当性値 (IC カード認証)］で「customSchemas.Card.CardId」を選択し、Google Workspace 上に「customSchemas.Card.CardId」のカスタム属性を作成します。

※Google Workspace 上に任意のカスタム属性を作成し、「customSchemas.カテゴリ名.フィールド名」の形式でカスタム属性を入力する事も可能です。

［ログインアカウントに設定する属性］
各ユーザーアカウントの［ログイン名］／［表示名］／［E メールアドレス］が登録されている属性を、プルダウンメニューで選択します。

7. ［ログインアカウントに設定するドメイン名］の［ドメイン名］で、ログイン先のドメイン名を設定する
8. ［キーボード認証時のユーザー名入力補完］の［補完するドメイン名］を設定する
   補完するドメイン名を入力します。通常は、［ドメイン名］と同じにします。
9. ［更新］をクリックする

   ➔［サーバー設定の編集］画面に戻ります。

5 ［認証タイムアウト］で、認証開始からタイムアウトするまでの時間を入力する

6 ［デフォルトドメイン］で、優先して接続するドメインを指定する

7 ［ユーザー情報のキャッシュ］で、ユーザーの認証情報を保持するかどうかを設定する

- 操作パネルからログインしたユーザーの認証情報を保持する場合は、［ログインユーザーの認証情報を保存する］にチェックマークを付けます。手順 5 で設定した時間内に認証サーバーに接続できなかった場合は、キャッシュに保持した認証情報を使用してログインすることができます。
- キーボード認証時にログインしたユーザーの認証情報を保持する場合は、［キーボード認証時のユーザー情報を保存する］にもチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、サーバーに接続できない場合でも、保持した認証情報を使用してログインできます。

8 ［ロールの関連付け］で、ユーザー情報や権限の設定をする

［参照するユーザー属性］
ユーザーの権限（ロール）を決定するために参照するサーバー上の属性を入力します。

Google Workspace の場合

「Google Workspace の任意のユーザ属性」「memberOf」が設定可能です。

- 「Google Workspace の任意のユーザ属性」には、「customSchemas.カテゴリ名.フィールド名」の形式のカスタム属性を設定している場合のみ有効です。設定したカスタム属性は、Google Workspace 上に作成しておく必要があります。

［適用するロール名を［参照するユーザー属性］から取得する］
［参照するユーザー属性］で指定した属性に登録されている文字列をそのままロール名として使用する場合は、チェックマークを付けます。あらかじめ本機で選択可能なロール名を確認し、サーバー側で登録しておく必要があります。

［適用条件］
ユーザーの権限を決定する条件を設定できます。条件は、上から順に適用されます。

- ［一致条件］で、［文字列］との一致条件を選択します。
- ［文字列］に、［参照するユーザー属性］で指定した属性に登録されている文字列を入力します。ユーザーの所属グループに応じた権限を設定する場合は、所属グループ名を入力します。
- ［ロール］で、条件を満たしたユーザーに適用する権限を選択します。

※Active Directory サーバーを使用する場合は、あらかじめ「Canon Peripheral Admins」グループの所属メンバーが［Administrator］に設定されています。

9 ［更新］をクリックする

10 本機を再起動する

➔登録が反映されます。

メモ

認証情報のキャッシュ保存を禁止する

- 外部認証サーバーへのログイン時に入力したパスワードのキャッシュ保存を禁止できます。
- キャッシュ保存を禁止した場合、手順 7 の［ログインユーザーの認証情報を保存する］の設定が自動的に無効になります。手順 7 の設定を有効にする場合は、［ログインユーザーの認証情報を保存する］にチェックマークを付け、認証サーバー情報を更新します。

Active Directory 側で Kerberos ポートのポート番号を変更している場合

- 以下の情報を SRV レコードとして DNS サーバーに登録します。
  - サービス：「_kerberos」
  - プロトコル：「_udp」
  - ポート番号：Active Directory ドメイン（ゾーン）の Kerberos サービスが実際に使用しているポート番号
  - このサービスを提供しているホスト：Active Directory ドメイン（ゾーン）の Kerberos サービスを実際に提供しているドメインコントローラーのホスト名

Google Workspace のサーバー設定を行う

Google Workspace のアカウント連携を行うには Google Workspace、GoogleCloud で以下の設定が必要になります。
サービスの更新などによって、設定方法が変更されることがあります。詳しくは、Google のホームページを参照してください。

- GoogleCloud の API 設定
  - ［API とサービス］を有効にする設定で、Admin SDK API を検索して有効に設定します。
- OAuth の同意の設定

Google Workspace のアカウントでキーボード認証を行う場合

- OAuth クライアント ID の設定
  - ［アプリケーションの種類］には、［ウェブアプリケーション］を設定します。
  - ［承認済みのリダイレクト URI］には、「http://localhost:8000/WebViewGoogle」を設定します。

Google Workspace のアカウントで IC カード認証を行う場合

- 認証情報作成（サービスアカウント）の設定
- サービスアカウントのキー設定
- サービスアカウント利用のためのポリシー設定
- ドメイン全体の権限の委任設定
  ［スコープ］には以下を設定します。
  https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user
  https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.group.readonly
- Google Workspace 管理者のメールアドレス設定

宛先登録に関する変更

EL2K-01J

Ver.4.04～

ファイルサーバーへデータを送信する場合の宛先登録に SFTP サーバーを追加

アドレス帳やワンタッチボタンに、ファイルサーバーの宛先を登録するときに、［ホスト名］に SFTP サーバーを登録できるようになりました。



［ホスト名］
宛先のホスト名または IP アドレスを入力します。

- 共有フォルダーの場合は、共有フォルダーがあるパソコンのコンピューター名または IP アドレスを入力します。
- IPv6 アドレスを入力する場合は、IP アドレスを [ ] で囲んで入力します。

［プロトコル］で［FTP］を選択した場合
SFTP サーバーを指定する場合は、先頭に「sftp://」を付けて入力します。
入力例：
sftp://192.168.100.50

※接続先の SFTP サーバーを認証するかどうかを設定できます。 **接続先の SFTP サーバーを認証する (P. 32)**

接続先の SFTP サーバーを認証する

EL2K-00H

接続先の SFTP サーバーを認証することで、スキャンデータの誤送信／漏えいを防ぎます。

1 リモート UI に管理者ユーザーでログインする

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする

3 [送信] ▶ [共通設定] をクリックする

→ [共通設定] 画面が表示されます。

4 [SFTP 送信時にホスト認証する] にチェックマークを付ける

5 [認証時に使用する公開鍵] の [公開鍵の設定] をクリックする

→ [公開鍵の設定] 画面が表示されます。

6 [登録] をクリックする

→ [公開鍵の登録] 画面が表示されます。

7 [ホスト名] を入力する

8 [ファイルの選択] をクリックし、インストールするファイルを指定する

9 [インストール開始] をクリックする

→ [公開鍵の設定] 画面のホスト名の一覧に、インストールした公開鍵が登録されます。

10 リモート UI からログアウトする

階調補正に関する変更

EL2K-00J

Ver.4.04～

C3150

フル補正に使用できる用紙サイズを追加

フル補正に使用できる用紙サイズに 320×450mm（SRA3）、305×457mm が追加になりました。

補正に使用できる用紙サイズと用紙種類

- サイズ：A3、A4、11"×17"、レター、320×450mm（SRA3）、305×457mm
- 種類：薄紙 1～2、普通紙 1～3、再生紙 1～3、厚紙 1～7

コピーの便利な機能に関する変更

EL2K-00K

Ver.4.04～

Color

［指定色除去］を追加

原稿内の特定の色を消してコピーできるようになりました。

1 コピーの画面で、［その他の機能］▶［指定色除去］を押す

➔［指定色除去］画面が表示されます。

2 除去したい色を選択し、［OK］を押す



- 指定した色が除去されず、色が残る場合は［除去範囲を広げる］を［ON］に設定します。
- ［レッド］／［グリーン］／［ブルー］を選択した場合は、［色合いの調整］を押して色合いを調整できます。

3 ［閉じる］を押す

➔コピーの画面に戻ります。

システム仕様の変更

EL2K-00L

Ver.4.02～

対応 OS やインターフェイスの変更

各種機能に対応する OS やインターフェイスが以下のとおり変更となりました。

LIPS LX プリンター機能

対応 OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 macOS 10.15 以降

LIPS V プリンター機能（オプション）

対応 OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025

PCL プリンター機能（オプション）

対応 OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025

PS プリンター機能（オプション）

対応 OS	ドライバー Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 macOS 10.15 以降 PPD Windows 10 / 11 macOS 10.15 以降

パソコンからスキャンする場合

対応 OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025
インターフェイス	USB 2.0 Hi-Speed

スキャンの仕様の変更

本機からスキャンする場合

出力フォーマットが以下のとおり変更となりました。

出力フォーマット	JPEG（シングルページ） TIFF（MMR） PDF（アウトライン、高圧縮、OCR、機器署名、ユーザー署名、暗号化、ポリシーを適用、PDF を Web 表示用に最適化、PDF/A 準拠） XPS（高圧縮、OCR、機器署名、ユーザー署名） OOXML（Word、PowerPoint）

ネットワークの仕様の変更

有線 LAN

ネットワーク（有線 LAN）の対応するプロトコルが以下のとおり変更となりました。

対応プロトコル	TCP/IP ● フレームタイプ：Ethernet II ● プリントアプリケーション：LPD、RAW、WSD、IPP、IPPS、BMLinkS[*1]、FTP、Mopria、AirPrint、IPP Everywhere、Windows 10 Mobile Print、Universal Print

[*1] IPv6 には対応していません。

無線 LAN

ネットワーク（無線 LAN）の最大周波数電力が以下のとおり変更となりました。

最大周波数電力	14.51 dBm (2.4 GHz) 16.34 dBm (5 GHz)

セキュリティー／管理機能の仕様の変更

Active Directory がインストールされた Windows Server を使用する場合

ソフトウェア（OS）、Kerberos の暗号化の種類、ポート番号が以下のとおり変更となりました。

ソフトウェア（OS）[*1]	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 [*2]
Kerberos の暗号化の種類[*3]	AES（Advanced Encryption Standard）128 bit AES（Advanced Encryption Standard）256 bit DES（Data Encryption Standard） RC4

ポート番号	DNS サーバーとの通信 53 KDC（Key Distribution Center）との通信 88 LDAP サービスとの通信 389 *4

*1 KDC に関するポリシー（グループポリシー）で Kerberos Armoring を有効にすると、ユーザーが Active Directory 認証でログインできなくなります。Kerberos Armoring は無効にして使用してください。
*2 Windows Server のデフォルトの設定では LDAP/LDAPS の通信ができません。Windows Server にサーバ証明書をインストールし LDAPS(TLS)で通信してください。
*3 使用可能な暗号化の種類は、Active Directory の設定に応じて変わります。また、使用可能な暗号化の種類のうち、暗号強度の強いものが自動的に選択されます。
*4 初期設定の場合のポート番号です。LDAP サービス側で設定を変更している場合は異なります。

IPSec

対向機器の OS と鍵交換プロトコルが以下のとおり変更となりました。

対向機器の OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / Server 2019 / Server 2022 / Server 2025
鍵交換プロトコル	鍵交換アルゴリズム／グループ（および鍵長） Diffie-Hellman (DH) • Group 14（2048 bit） • ECDH-P256 • ECDH-P384

自己生成鍵と自己署名証明書／CSR

証明書の署名アルゴリズムが以下のとおり変更となりました。

証明書の署名アルゴリズム	RSA SHA-256、SHA-384 *1、SHA-512 *1 ECDSA SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512

*1 鍵長が 1024 bit 以上の場合にのみ使用できます。

FIPS140 準拠のアルゴリズム

準拠する暗号方式と使用禁止の対象となるアルゴリズムが以下のとおり変更となりました。

ハッシュ	MD2、MD4、MD5、SHA-1（TLS 以外の用途）
共通鍵暗号	RC2、RC4、RC5、DES、ChaCha20-Poly1305、3DES
公開鍵暗号	RSA 暗号（512bit/1024bit） RSA 署名（512bit/1024bit） DSA 署名（512bit/1024bit） DH（512bit/1024bit） X25519

メモ

- 暗号方式を FIPS140 準拠にした場合は、TLS の設定や通信が以下のとおり制限されます。
  - ［TLS 設定］の［使用可能なバージョンの指定］が［TLS 1.0］または［TLS 1.1］に設定されている場合は、［TLS 1.2］に変更されます。
  - TLS で使用するアルゴリズムの［3DES-CBC］／［CHACHA20-POLY1305］／［X25519］が無効になります。
- ［TLS 設定］の［使用可能なバージョン指定］を［TLS 1.0］または［TLS 1.1］に変更した場合は、［暗号方式を FIPS 140 準拠にする］が［OFF］に変更され、暗号方式が FIPS140 準拠されなくなります。

サポート環境の変更

サポート環境に対応する OS が以下のとおり変更となりました。

WSD スキャン

WSD スキャン時のシステム環境	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025

サーバーソフトウェア

メール／I ファクス転送用サーバーソフトウェア	Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 Sendmail 8.15.2 Microsoft Exchange Online Google Workspace
メール／I ファクス受信用サーバーソフトウェア	Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 Qpopper 4.1.0 Microsoft Exchange Online Google Workspace

ファイルサーバー

ファイル送信可能なファイルサーバー	SMB Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 macOS Ventura / Sonoma / Sequoia Cent OS Stream 8 FTP Windows 10 / 11 / Server 2016 / Server 2019 / Server 2022 / Server 2025：Internet Information Services 10 Cent OS Stream 8 WebDAV Windows 10 / 11 / Server 2016 / Server 2019 / Server 2022 / Server 2025：Internet Information Services 10 macOS Ventura / Sonoma / Sequoia Cent OS Stream 8

LDAP サーバー

使用可能な LDAP サーバー	Windows Server 2016 with Active Directory Windows Server 2019 with Active Directory Windows Server 2022 with Active Directory Windows Server 2025 with Active Directory

アドバンスドボックス

アドバンスドボックスに接続可能な Windows サーバー	SMB Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / Server 2019 / Server 2022 WebDAV Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / Server 2019 / Server 2022

Ver.4.04～

対応 OS の変更

各種機能に対応する OS が以下のとおり変更となりました。

LIPS LX プリンター機能

対応 OS	Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 macOS 11.7 以降

PS プリンター機能（オプション）

対応 OS	ドライバー Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 macOS 11.7 以降 PPD Windows 10 / 11 macOS 11.7 以降

パソコンからスキャンする場合

対応 OS	Windows 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025

スキャンの仕様の変更

本機からスキャンする場合

対応プロトコル、出力フォーマットが以下のとおり変更となりました。

対応プロトコル	ファイル SMB（TCP/IP）、FTP（TCP/IP）、WebDAV メール／I ファクス SMTP（送信）、POP3（受信）
出力フォーマット	JPEG（シングルページ） TIFF（MMR） PDF（アウトライン、高圧縮、OCR、機器署名、ユーザー署名、暗号化、PDF を Web 表示用に最適化、PDF/A（PDF/A-1a、PDF/A-1b、PDF/A-2a、PDF/A-2b、PDF/A-2u、PDF/A-3a、PDF/A-3b、PDF/A-3u）準拠） XPS（高圧縮、OCR、機器署名、ユーザー署名） OOXML（Word、PowerPoint）

セキュリティー／管理機能の仕様の変更

副回線のファイアウォールの初期設定

例外ポート番号が以下のとおり変更となりました。

例外ポート番号	53、67、68、80、161、443、515 *1、631 *1、853 *2、3702、5353、5357、5358、6443 *1、8000 *1、8080、8443 *1、9013、9100 *1、10443 *1、20010 *1、47545

*1 受信フィルターのみ
*2 送信フィルターのみ

サポート環境の変更

サポート環境に対応する OS が以下のとおり変更となりました。

サーバーソフトウェア

メール／I ファクス転送用サーバーソフトウェア	Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 Microsoft Exchange Online Google Workspace
メール／I ファクス受信用サーバーソフトウェア	Microsoft Exchange Server 2016 Microsoft Exchange Server 2019 Microsoft Exchange Online Google Workspace

ファイルサーバー

ファイル送信可能なファイルサーバー	SMB Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 macOS Ventura / Sonoma / Sequoia FTP Windows 10 / 11 / Server 2016 / Server 2019 / Server 2022 / Server 2025：Internet Information Services 10 SFTP Windows 11 Windows Server 2019 / 2022 / 2025 WebDAV Windows 10 / 11 / Server 2016 / Server 2019 / Server 2022 / Server 2025：Internet Information Services 10 macOS Ventura / Sonoma / Sequoia

アドバンスドボックス

アドバンスドボックスに接続可能な Windows サーバー	SMB Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025 WebDAV Windows 10 / 11 Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025

設定/登録に関する変更

設定/登録に関する変更 43
新規追加項目 44
［デフォルト画面］（Ver.4.01～） 45
［MAC アドレスフィルター］（Ver.4.01～） 46
［IEEE 802.1X 設定］（Ver.4.01～） 48
［連続キー操作を受け付けない時間の指定］（Ver.4.02～） 50
［宛先の名称を件名に使用］（Ver.4.02～） 51
［DNS 暗号化設定］（Ver.4.04～） 52
［回線分離によるファイル共有制限］（Ver.4.04～） 53
［SFTP 送信時のホスト認証］（Ver.4.04～） 54
［パスワード強度メーターを使用］（Ver.4.04～） 55
［ﾎﾟﾘｼｰ違反のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞをﾛｸﾞｲﾝ時に必ず変更］（Ver.4.04～） 56
変更項目 57

設定/登録に関する変更

EL2K-00R

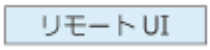
［設定/登録］画面の項目に関する変更内容について説明しています。［設定/登録］画面は操作パネルの［ 設定/登録］を押すと表示されます。

新規追加項目 (P. 44)
変更項目 (P. 57)

メモ

- リモート UI から設定できるかどうかは、項目ごとに以下のマークで示しています。

  設定できる項目

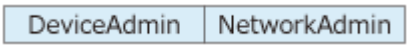
  

  設定できない項目

- ［設定/登録］メニューの項目によっては、表示／変更するために管理者権限が必要です。
  - Administrator 権限を持つユーザーでログインしている場合は、すべての項目を変更できます。
  - DeviceAdmin/NetworkAdmin 権限を持つユーザーでログインしている場合は、項目により、変更できるかどうかが異なります。変更できるか どうかは項目ごとに以下のマークで示しています。

    設定できる項目

    設定できない項目

新規追加項目

EL2K-00S

設定/登録に新たに追加された項目について説明しています。

- ［デフォルト画面］（Ver.4.01～） (P. 45)
- ［MAC アドレスフィルター］（Ver.4.01～） (P. 46)
- ［IEEE 802.1X 設定］（Ver.4.01～） (P. 48)
- ［連続キー操作を受け付けない時間の指定］（Ver.4.02～） (P. 50)
- ［宛先の名称を件名に使用］（Ver.4.02～） (P. 51)
- ［DNS 暗号化設定］（Ver.4.04～） (P. 52)
- ［回線分離によるファイル共有制限］（Ver.4.04～） (P. 53)
- ［SFTP 送信時のホスト認証］（Ver.4.04～） (P. 54)
- ［パスワード強度メーターを使用］（Ver.4.04～） (P. 55)
- ［ﾎﾟﾘｼｰ違反のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞをﾛｸﾞｲﾝ時に必ず変更］（Ver.4.04～） (P. 56)

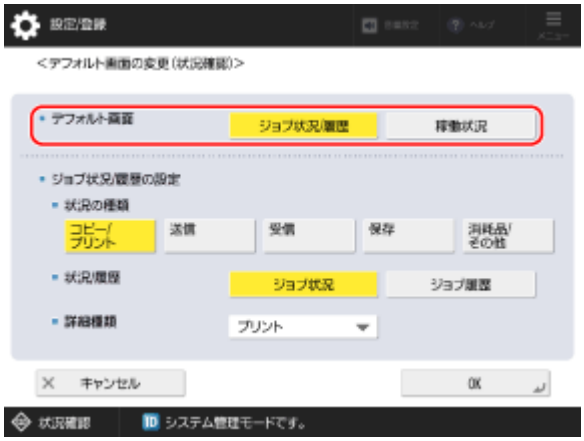
［デフォルト画面］ Ver.4.01～

EL2K-00U

DeviceAdmin | NetworkAdmin | リモートUI

［設定/登録］▶［環境設定］▶［表示設定］▶［デフォルト画面の変更 (状況確認)］

［状況確認］画面のデフォルト表示を選択できるようになりました。



［デフォルト画面］
　［ジョブ状況/履歴］、［稼働状況］

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「［設定/登録］メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
［デフォルト画面の変更 (状況確認)］	×	C	設定/登録の基本情報

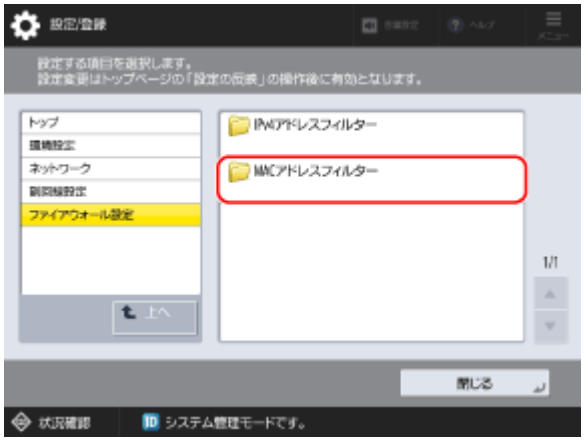
[MAC アドレスフィルター] Ver.4.01～

EL2K-00W

DeviceAdmin | NetworkAdmin | リモート UI

[設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [ファイアウォール設定] ▶ [MAC アドレスフィルター]

副回線の MAC アドレスフィルターの設定ができるようになりました。



[MAC アドレスフィルター]
　[送信フィルター]
　　[フィルターを使用]
　　[ON]、[OFF]

　　[デフォルトポリシー]
　　[許可]、[拒否]

　　[登録]
　　[MAC アドレス]

　　[編集]

　　[削除]
　[受信フィルター]
　　[フィルターを使用]
　　[ON]、[OFF]

　　[デフォルトポリシー]
　　[許可]、[拒否]

　　[登録]
　　[MAC アドレス]

　　[編集]

　　[削除]

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「[設定/登録］メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
［MAC アドレスフィルター］	×	C	設定/登録の基本情報

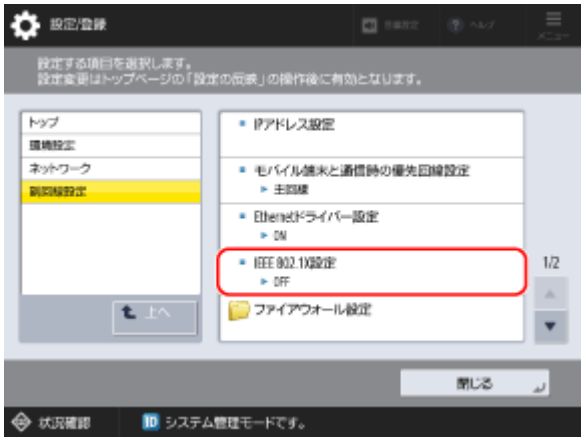
[IEEE 802.1X 設定] Ver.4.01～

EL2K-00X

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [IEEE 802.1X 設定]

副回線で使用する IEEE 802.1X の設定ができるようになりました。



[IEEE 802.1X 設定]
　[IEEE 802.1X を使用]
　　[ON]、[OFF]

　[ログイン名]

　[認証サーバーの証明書を検証]
　　[ON]、[OFF]

　[認証サーバー名を検証]
　　[ON]、[OFF]

　[認証サーバー名]

　[TLS を使用]
　　[ON]、[OFF]

　[鍵と証明書]
　　[使用鍵に設定]
　　[証明書詳細情報]
　　[バージョン]
　　[シリアル No.]
　　[署名アルゴリズム]
　　[発行先]
　　[有効期限開始日]
　　[有効期限終了日]
　　[発行者]
　　[公開鍵]
　　[証明書のぼ印]
　　[発行先代替名]
　　[証明書検証]
　　[使用先を表示]

［TTLS を使用］
　［ON］、［OFF］
　　［<TTLS 設定 (TTLS 内部プロトコル)>］
　　［MSCHAPv2］、［PAP］

［PEAP を使用］
　［ON］、［OFF］

［ユーザー名］

［パスワード］

［ユーザー名にログイン名を使用］
　［ON］、［OFF］

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「［設定/登録］メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目		機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
［IEEE 802.1X 設定］	［IEEE 802.1X を使用］	×	C	設定/登録の基本情報
	［ログイン名］	×	C	設定/登録の基本情報
	［認証サーバーの証明書を検証］	×	C	設定/登録の基本情報
	［認証サーバー名を検証］	×	C	設定/登録の基本情報
	［認証サーバー名］	×	C	設定/登録の基本情報
	［TLS を使用］	×	C	設定/登録の基本情報
	［鍵と証明書］	×	×	×
	［TTLS を使用］	×	C	設定/登録の基本情報
	［PEAP を使用］	×	C	設定/登録の基本情報
	［ユーザー名］	×	C	設定/登録の基本情報
	［パスワード］	×	C	設定/登録の基本情報
	［ユーザー名にログイン名を使用］	×	C	設定/登録の基本情報

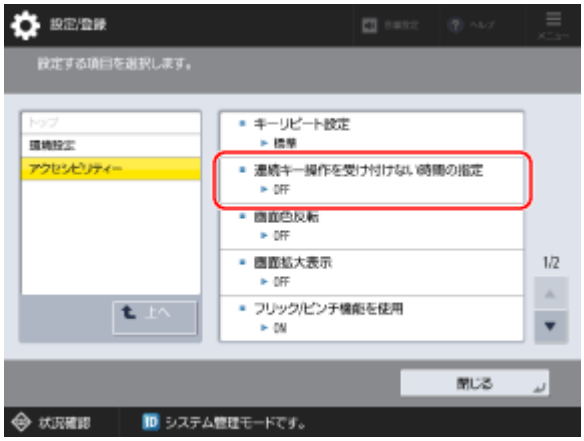
[連続キー操作を受け付けない時間の指定] Ver.4.02～

EL2K-00Y

DeviceAdmin | NetworkAdmin | リモートUI

[設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [アクセシビリティー]

画面に表示されるキーボードのキーを意図せずに連続して押したときの、2 回目以降の入力を受け付けない時間を設定できるようになりました。



[ON]、[OFF]
　0.1～1.0 秒

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「[設定/登録] メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
[連続キー操作を受け付けない時間の指定]	×	C	設定/登録の基本情報

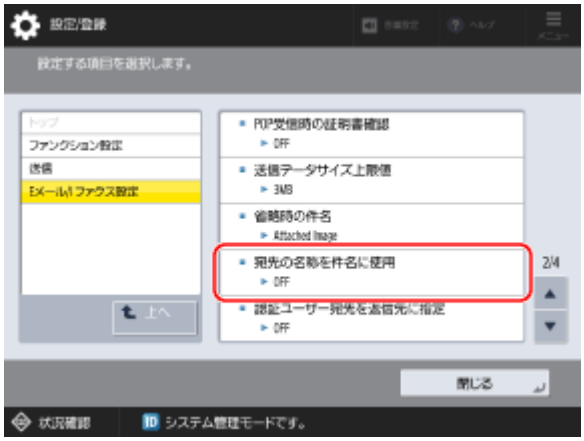
［宛先の名称を件名に使用］ Ver.4.02～

EL2K-010

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

［設定/登録］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［E メール/I ファクス設定］

メール送信時の件名に、アドレス帳に登録されている宛先の［名称］を指定するかどうかを設定できるようになりました。



［ON］、［OFF］

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「[設定/登録］メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
［宛先の名称を件名に使用］	×	C	設定/登録の基本情報

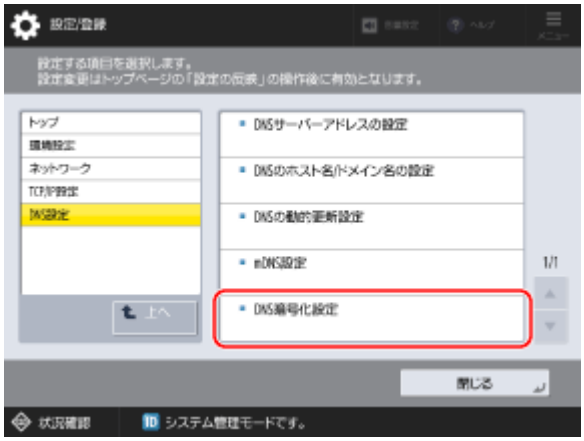
［DNS 暗号化設定］ Ver.4.04～

EL2K-011

DeviceAdmin NetworkAdmin リモート UI

［設定/登録］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［TCP/IP 設定］▶［DNS 設定］▶［DNS 暗号化設定］

DNS サーバーとの通信を TLS で暗号化するかどうかの設定ができるようになりました。



［DNS over TLS を使用］
　［ON］、［OFF］

［使用するポート番号］
　1 ～ 853 ～ 65535

［検証するホスト名］
　［ホスト名］

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「［設定/登録］メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
［DNS 暗号化設定］	×	C	設定/登録の基本情報

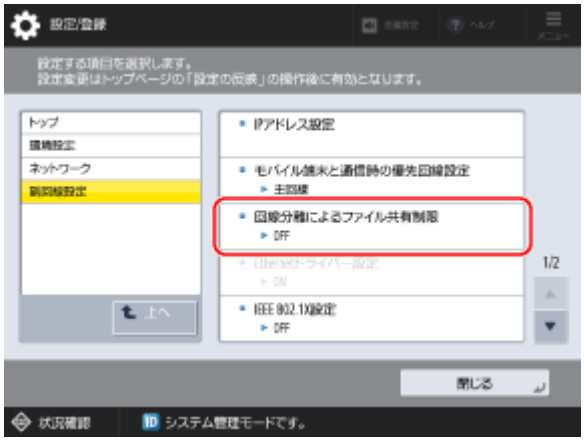
[回線分離によるファイル共有制限] Ver.4.04～

EL2K-012

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

[設定/登録] ▶ [環境設定] ▶ [ネットワーク] ▶ [副回線設定] ▶ [回線分離によるファイル共有制限]

[スキャンして保存] または [保存ファイルの利用] のセキュリティーを強化するかどうかの設定ができるようになりました。



[ON]、[OFF]

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「[設定/登録] メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
[回線分離によるファイル共有制限]	×	C	設定/登録の基本情報

［SFTP 送信時のホスト認証］ Ver.4.04～

EL2K-013

DeviceAdmin NetworkAdmin リモートUI

［設定/登録］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［共通設定］▶［SFTP 送信時のホスト認証］

SFTP サーバーへの送信時に、接続先の SFTP サーバーを認証するかどうかを設定できるようになりました。



［ON］、［OFF］

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「［設定/登録］メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
［SFTP 送信時のホスト認証］	×	C	設定/登録の基本情報

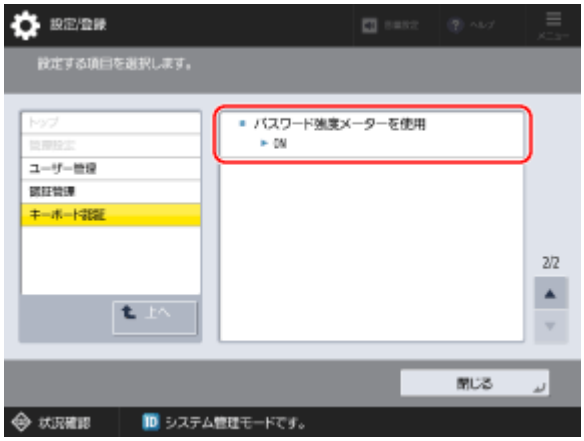
［パスワード強度メーターを使用］ Ver.4.04～

EL2K-014

DeviceAdmin | NetworkAdmin | リモートUI

［設定/登録］▶［管理設定］▶［ユーザー管理］▶［認証管理］▶［キーボード認証］▶［パスワード強度メーターを使用］

ユーザー情報を登録する／編集するときのパスワード設定画面に、パスワードの強度を確認するメーターを表示するかどうかを設定できるようになりました。



［ON］、［OFF］
　［パスワード強度］
　　1～5段階

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

配信／インポート／エクスポートできる設定項目

機器情報配信／インポート／エクスポート対応状況は、以下のとおりです。

対応状況一覧の見かたについては、「ユーザーズガイド」の「［設定/登録］メニュー一覧」▶「配信／インポート／エクスポートできる設定項目」▶「対応状況一覧の見かた」を参照してください。

設定項目	機器情報配信	一括インポート	一括エクスポート
［パスワード強度メーターを使用］	×	C	設定/登録の基本情報

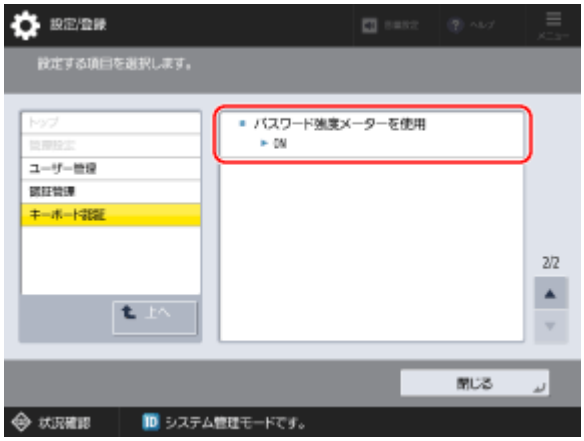
[ﾎﾟﾘｼｰ違反のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞをﾛｸﾞｲﾝ時に必ず変更] Ver.4.04～

EL2K-015

DeviceAdmin | NetworkAdmin | リモートUI

[設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定] ▶ [認証/パスワード設定] ▶ [パスワード設定] ▶ [ﾎﾟﾘｼｰ違反のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞをﾛｸﾞｲﾝ時に必ず変更]

ユーザー名「Administrator」の管理者ユーザーが初期設定のパスワードで本機にログインしたときに、パスワードを変更しないとログインできないようにするかどうかを設定できるようになりました。



[ON]、[OFF]

※各項目に赤い文字で表記されている設定値は初期設定です。

変更項目

EL2K-016

設定内容や補足説明などが変更となった設定項目は以下のとおりです。

Ver.4.01～

［設定/登録］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［インターフェイス選択］

- 主回線と副回線それぞれの設定が選択できるようになりました。

変更前	変更後
［有線 LAN］、［無線 LAN］、［有線 LAN+有線 LAN］、［有線 LAN+無線 LAN］	［主回線］［有線 LAN］ 副回線［使用しない］、［有線 LAN］、［無線 LAN］ ［主回線］［無線 LAN］ 副回線［使用しない］、［有線 LAN］

Ver.4.02～

［設定/登録］▶［環境設定］▶［タイマー/電力設定］▶［オートスリープ移行時間］

- 設定項目に「5 分 *1」が追加になりました。

変更前	変更後
10 秒、1 分、2 分、10 分、15 分、20 分、30 分、40 分、50 分、1 時間、90 分 *1、2 時間 *1	10 秒、1 分、2 分、5 分 *1、10 分、15 分、20 分、30 分、40 分、50 分、1 時間、90 分 *1、2 時間 *1

*1 機種によっては表示されません。

［設定/登録］▶［ファンクション設定］▶［共通］▶［ファイル生成］▶［タイムスタンプ設定］

- 項目が削除となりました。

［設定/登録］▶［ファンクション設定］▶［送信］▶［共通設定］▶［データ圧縮率］

- 設定項目が変更となりました。

変更前	変更後
［高圧縮］、［普通］、［低圧縮］	レベル 1～レベル 2～レベル 5

［設定/登録］▶［ファンクション設定］▶［ウェブブラウザー］▶［仕様設定］

- 設定項目に［ブラウザーエンジン］、［WebKit］、［WebKit2］が追加になりました。

変更前	変更後
[セキュリティー] [TLS バージョン設定] [すべてのバージョンを試す]、[TLS 1.3]、[TLS 1.2]、[TLS 1.1]、[TLS 1.0] [JavaScript の使用] [ON]、[OFF] [HTTPS/HTTP 混在ページを表示] [ON]、[OFF] [警告しないサーバーのアドレス] [情報通知を許可するサーバーのアドレス] [シンプル PDF プリント可能なサーバーのアドレス] [デバイス情報通知の制限] [ON]、[OFF] [ルート証明書が存在しない時の警告表示] [ON]、[OFF] [証明書の CN が一致しない時の警告表示] [ON]、[OFF] [保護付きページに入る時の警告表示] [ON]、[OFF] [保護付きページを出る時の警告表示] [ON]、[OFF] [キャッシュ] [キャッシュの使用] [ON]、[OFF] [キャッシュのクリア] [Cookie] [Cookie の処理方法] [受信する]、[受信しない] [Cookie の削除] [ローカルストレージ] [ローカルストレージのクリア] [機能制限設定] [URL 入力の制限] [ON]、[OFF] [お気に入り追加/編集の制限] [ON]、[OFF] [プリント/ボックスに保存の制限] [ON]、[OFF] [ファイルアップロードの制限] [ON]、[OFF] [画面上部エリアの表示制限] [ON]、[OFF] [ツールバーのボタン部の表示制限] [ON]、[OFF] [ツールバーのアドレス部の表示制限] [ON]、[OFF] [ウェブブラウザーボタンの表示制限] [ON]、[OFF] [プロキシー設定] [プロキシーを使用] [プロキシーサーバーのアドレス] [ポート番号] [プロキシー認証を使用] [プロキシーを使用しないアドレス] [プロキシー接続時に HTTP1.1 を使用] *1	[セキュリティー] [TLS バージョン設定] [すべてのバージョンを試す]、[TLS 1.3]、[TLS 1.2]、[TLS 1.1]、[TLS 1.0] [JavaScript の使用] [ON]、[OFF] [HTTPS/HTTP 混在ページを表示] [ON]、[OFF] [警告しないサーバーのアドレス] [情報通知を許可するサーバーのアドレス] [シンプル PDF プリント可能なサーバーのアドレス] [デバイス情報通知の制限] [ON]、[OFF] [ルート証明書が存在しない時の警告表示] [ON]、[OFF] [証明書の CN が一致しない時の警告表示] [ON]、[OFF] [保護付きページに入る時の警告表示] [ON]、[OFF] [保護付きページを出る時の警告表示] [ON]、[OFF] [キャッシュ] [キャッシュの使用] [ON]、[OFF] [キャッシュのクリア] [Cookie] [Cookie の処理方法] [受信する]、[受信しない] [Cookie の削除] [ローカルストレージ] [ローカルストレージのクリア] [機能制限設定] [URL 入力の制限] [ON]、[OFF] [お気に入り追加/編集の制限] [ON]、[OFF] [プリント/ボックスに保存の制限] [ON]、[OFF] [ファイルアップロードの制限] [ON]、[OFF] [画面上部エリアの表示制限] [ON]、[OFF] [ツールバーのボタン部の表示制限] [ON]、[OFF] [ツールバーのアドレス部の表示制限] [ON]、[OFF] [ウェブブラウザーボタンの表示制限] [ON]、[OFF] [プロキシー設定] [プロキシーを使用] [プロキシーサーバーのアドレス] [ポート番号] [プロキシー認証を使用] [プロキシーを使用しないアドレス] [プロキシー接続時に HTTP1.1 を使用] *1

変更前	変更後
[ON]、[OFF] [ブラウザー画面表示時のスリープ解除] [スキャナー] [ON]、[OFF] [プリンター] [ON]、[OFF] [ユーザーエージェント] [ユーザーエージェント] ユーザーエージェント情報 [初期値に戻す] [バージョン] [バージョン情報]	[ON]、[OFF] [ブラウザー画面表示時のスリープ解除] [スキャナー] [ON]、[OFF] [プリンター] [ON]、[OFF] [ユーザーエージェント] [ユーザーエージェント] ユーザーエージェント情報 [初期値に戻す] [バージョン] [バージョン情報] [ブラウザーエンジン] [WebKit]、[WebKit2]

*1 ファームウェアのバージョンによっては、[OFF] に変更できません。

[設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [プリント機能のモバイル操作]

- 項目が削除となりました。

[設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [セキュリティー設定] ▶ [おすすめセキュリティー設定]

- [環境タイプを推定] の名称が [おすすめを更新] に変更となりました。

変更前	変更後
[環境タイプ設定] [1 社内イントラネットタイプ] [2 インターネット直結タイプ] [3 インターネット禁止タイプ] [4 在宅タイプ] [5 公共スペースタイプ] [6 高機密情報管理タイプ] [環境タイプを推定] [設定を取り消す] [保護通知の ON/OFF] [推奨環境タイプの更新時] [ON]、[OFF] [インターネットからの接続時] [ON]、[OFF] [無線 LAN の暗号化方式の脆弱性検出時] *1 [ON]、[OFF]	[環境タイプ設定] [1 社内イントラネットタイプ] [2 インターネット直結タイプ] [3 インターネット禁止タイプ] [4 在宅タイプ] [5 公共スペースタイプ] [6 高機密情報管理タイプ] [おすすめを更新] [設定を取り消す] [保護通知の ON/OFF] [推奨環境タイプの更新時] [ON]、[OFF] [インターネットからの接続時] [ON]、[OFF] [無線 LAN の暗号化方式の脆弱性検出時] *1 [ON]、[OFF]

*1 オプションの無線 LAN ボードが装着されている場合にのみ表示されます。

Ver.4.04～

［設定/登録］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［Ethernet ドライバー設定］

- 設定項目に［EEE を使用］が追加になりました。

  ※ネットワーク環境によっては、本機とネットワークの接続が不安定になることがあります。その場合は、［EEE を使用］を［OFF］に設定します。

変更前	変更後
［自動検出］ 　［ON］、［OFF］ ［通信方式］ 　［半二重］、［全二重］ ［Ethernet の種類］ 　［10BASE-T］、［100BASE-TX］、［1000BASE-T］ ［動作中の通信速度］ ［MAC アドレス］	［自動検出］ 　［ON］、［OFF］ ［通信方式］ 　［半二重］、［全二重］ ［Ethernet の種類］ 　［10BASE-T］、［100BASE-TX］、［1000BASE-T］ ［動作中の通信速度］ ［MAC アドレス］ ［EEE を使用］ 　［ON］、［OFF］

［設定/登録］▶［環境設定］▶［ネットワーク］▶［副回線設定］▶［Ethernet ドライバー設定］

- 設定項目に［EEE を使用］が追加になりました。

  ※ネットワーク環境によっては、本機とネットワークの接続が不安定になることがあります。その場合は、［EEE を使用］を［OFF］に設定します。

変更前	変更後
［自動検出］ 　［ON］、［OFF］ ［通信方式］ 　［半二重］、［全二重］ ［Ethernet の種類］ 　［10BASE-T］、［100BASE-TX］、［1000BASE-T］ ［動作中の通信速度］ ［MAC アドレス］	［自動検出］ 　［ON］、［OFF］ ［通信方式］ 　［半二重］、［全二重］ ［Ethernet の種類］ 　［10BASE-T］、［100BASE-TX］、［1000BASE-T］ ［動作中の通信速度］ ［MAC アドレス］ ［EEE を使用］ 　［ON］、［OFF］

［設定/登録］▶［ファンクション設定］▶［共通］▶［ファイル生成］▶［PDF を PDF/A 準拠にする］

- 設定項目に［PDF/A-1a］、［PDF/A-1b］、［PDF/A-2a］、［PDF/A-2b］、［PDF/A-2u］、［PDF/A-3a］、［PDF/A-3b］、［PDF/A-3u］が追加になりました。

変更前	変更後
[ON]、[OFF]	[ON]、[OFF] [PDF/A-1a]、[PDF/A-1b]、[PDF/A-2a]、[PDF/A-2b]、[PDF/A-2u]、[PDF/A-3a]、[PDF/A-3b]、[PDF/A-3u]

[設定/登録] ▶ [管理設定] ▶ [ライセンス/その他] ▶ [リモートオペレーション設定]

- 設定項目に［詳細設定］が追加になりました。

変更前	変更後
[ON]、[OFF] [パスワード]	[ON]、[OFF] [パスワード] [詳細設定] [リモート UI 経由の操作を許可するユーザー] [管理者のみ]、[すべて] [リモート UI を経由しない操作を許可] [ON]、[OFF] [タイムアウト時間] 0 分（なし）、1 ～ 15 ～ 150 分

バージョンごとの変更点

バージョンごとの変更点 63
Ver.4.00 の変更点 64
Ver.4.00 から Ver.4.01 の変更点 65
Ver.4.01 から Ver.4.02 の変更点 66
Ver.4.02 から Ver.4.04 の変更点 67

バージョンごとの変更点

EL2K-017

バージョンごとの変更点を一覧にまとめて説明しています。

Ver.4.00 の変更点 (P. 64)
Ver.4.00 から Ver.4.01 の変更点 (P. 65)
Ver.4.01 から Ver.4.02 の変更点 (P. 66)
Ver.4.02 から Ver.4.04 の変更点 (P. 67)

Ver.4.00 の変更点

EL2K-018

プラットフォームバージョン Ver.4.00 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

各種機能に関する変更点

- 背景濃度を調整するときの補足説明を追加
  読み込み設定に関する変更 (P. 9)

Ver.4.00 から Ver.4.01 の変更点

EL2K-019

プラットフォームバージョン Ver.4.01 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

各種機能に関する変更点 (P. 65)
設定登録に関する変更点 (P. 65)

各種機能に関する変更点

- ［状況確認］画面に［稼働状況］の項目追加
  本機の稼働状況などを確認する画面の追加 (P. 7)
- 主回線での無線 LAN の使用に対応
  ネットワークに関する変更 (P. 11)
- 副回線通信での MAC アドレスフィルターの使用に対応
  ネットワークに関する変更 (P. 11)
- 副回線通信での IEEE 802.1X の使用に対応
  ネットワークに関する変更 (P. 11)
- Canon PRINT Business に関する変更
- **キヤノン専用アプリに関する変更 (P. 25)**

設定登録に関する変更点

- ［デフォルト画面］の設定項目の追加
  ［デフォルト画面］（Ver.4.01～） (P. 45)
- ［MAC アドレスフィルター］を新規追加
  ［MAC アドレスフィルター］（Ver.4.01～） (P. 46)
- ［IEEE 802.1X 設定］を新規追加
  ［IEEE 802.1X 設定］（Ver.4.01～） (P. 48)
- ［インターフェイス選択］の設定項目の変更
  変更項目 (P. 57)

Ver.4.01 から Ver.4.02 の変更点

EL2K-01A

プラットフォームバージョン Ver.4.02 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

各種機能に関する変更点 (P. 66)
設定登録に関する変更点 (P. 66)

各種機能に関する変更点

- Universal Print が macOS に対応
  Universal Print が macOS に対応 (P. 17)
- ローカルデバイスに登録するユーザー情報に IPP 印刷情報を設定する項目を追加
  ユーザー認証に関する変更 (P. 18)
- サーバー認証設定時のパスワード文字数の上限を変更
  サーバー情報の登録に関する変更 (P. 22)
- 操作パネルのログイン画面に Microsoft Entra ID との接続を確認するための項目を追加
  操作パネルでの Microsoft Entra ID の接続確認に対応 (P. 23)
- ジョブ履歴や監査ログに個人情報の書き込みを禁止するための項目を追加
  ジョブ履歴に関する変更 (P. 24)
- 各種仕様（対応する OS やインターフェイス／スキャンの仕様／ネットワークの仕様／セキュリティー／管理機能の仕様の変更／サポート環境の変更）の変更
  システム仕様の変更 (P. 35)

設定登録に関する変更点

- ［連続キー操作を受け付けない時間の指定］を新規追加
  ［連続キー操作を受け付けない時間の指定］（Ver.4.02～） (P. 50)
- ［宛先の名称を件名に使用］を新規追加
  ［宛先の名称を件名に使用］（Ver.4.02～） (P. 51)
- ［オートスリープ移行時間］の設定項目の追加
  変更項目 (P. 57)
- ［タイムスタンプ設定］の設定項目の削除
  変更項目 (P. 57)
- ［データ圧縮率］の設定項目の変更
  変更項目 (P. 57)
- ［仕様設定］の設定項目の変更
  変更項目 (P. 57)
- ［プリント機能のモバイル操作］の設定項目の削除
  変更項目 (P. 57)
- ［おすすめセキュリティー設定］の設定項目の変更
  変更項目 (P. 57)

Ver.4.02 から Ver.4.04 の変更点

EL2K-01C

プラットフォームバージョン Ver.4.04 における変更点は以下のとおりです。お使いの機種によっては利用できない機能や設定もあります。詳しくは、各変更点のリンク先の記載をご確認ください。

各種機能に関する変更点 (P. 67)
設定登録に関する変更点 (P. 67)

各種機能に関する変更点

- 原稿内の特定の色を消してスキャンする機能を追加
  読み込み設定に関する変更 (P. 9)
- フリーサイズ（名刺など）の原稿をスキャンするときに原稿の向きを選択する項目を追加
  読み込み設定に関する変更 (P. 9)
- 外部認証サーバーに Google Workspace を追加
  認証サーバーに関する変更 (P. 26)
- SFTP サーバーの認証に対応
  宛先登録に関する変更 (P. 31)
- フル補正に使用できる用紙サイズを追加
  階調補正に関する変更 (P. 33)
- 原稿内の特定の色を消してコピーする機能を追加
  コピーの便利な機能に関する変更 (P. 34)
- 各種仕様（対応する OS／スキャンの仕様／セキュリティー／管理機能の仕様／サポート環境）の変更
  システム仕様の変更 (P. 35)

設定登録に関する変更点

- ［DNS 暗号化設定］を新規追加
  ［DNS 暗号化設定］（Ver.4.04～） (P. 52)
- ［回線分離によるファイル共有制限］を新規追加
  ［回線分離によるファイル共有制限］（Ver.4.04～） (P. 53)
- ［SFTP 送信時のホスト認証］を新規追加
  ［SFTP 送信時のホスト認証］（Ver.4.04～） (P. 54)
- ［パスワード強度メーターを使用］を新規追加
  ［パスワード強度メーターを使用］（Ver.4.04～） (P. 55)
- ［ﾎﾟﾘｼｰ違反のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞをﾛｸﾞｲﾝ時に必ず変更］を新規追加
  ［ﾎﾟﾘｼｰ違反のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞをﾛｸﾞｲﾝ時に必ず変更］（Ver.4.04～） (P. 56)
- ［Ethernet ドライバー設定］の設定項目の追加
  変更項目 (P. 57)
- ［PDF を PDF/A 準拠にする］の設定項目の追加
  変更項目 (P. 57)
- ［リモートオペレーション設定］の設定項目の追加
  変更項目 (P. 57)

第三者のソフトウェアについて

第三者のソフトウェアについて 69

第三者のソフトウェアについて

EL2K-01F

各バージョンの第三者のソフトウェアに関する情報は、本マニュアルの HTML 版をご確認ください。HTML 版マニュアルはオンラインマニュアルサイト（https://oip.manual.canon/）からご覧になることができます。

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.
This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
https://openfontlicense.org

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE
The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS
"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components,

in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION
This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.